

防災フィールドワークの手順 1

★地図の入手

都市計画図(おすすめ)

- ・市役所・役場の建設課などで入手

森林基本図

- ・県の各振興局で入手

住宅地図

- ・(株)ゼンリンに依頼して災害図上演習用地図を作成できる(有料)

地理院地図

- ・インターネット上で無料で閲覧できる

など



★ルートを選定

危険な場所等を事前調査

- ・グーグルマップのストリートビューやハザードマップで確認

地域を数カ所に区分し、児童生徒を班分けして調査できるようにルートを計画し、地図上に蛍光ペン等で記載

1班あたり30～40分程度で調査できるルートを選定するとよい

★引率者(指導者)の手配

教職員のほか、地域の防災士やスクールガード、市町村職員等の人材を活用



★事前学習

地形と災害の関係(水害・土砂・津波)

- ・河川沿いの低地は浸水
- ・水路は内水氾濫
- ・平地と丘陵の間は土砂災害
- ・海岸沿いの低地は津波
- ・台地の上は安全

建物や工作物(地震)

- ・民家の窓ガラスや瓦屋根の落下
- ・ブロック塀の転倒
- ・自動販売機などの転倒

地震の揺れや土砂災害の様子などの動画を視聴するのも効果的

※引率者(指導者)も事前学習しておくとうい

防災フィールドワークの手順 2

★フィールドワークの実施

持って行く物

- ・班別の地図
- ・デジタルカメラ(またはタブレット端末)
- ・赤ペン、鉛筆
- ・記録用紙

危険(安全)な場所を見つけたら
写真を撮影し、地図上に赤ペンで
番号を記載(①、②・・・)

記録用紙に番号とコメントを入れる
(①ブロック塀 地震で倒れる・・・)

地域の人に災害について聴き取り
調査することもできる



ブロック塀を調査(豊後高田市立桂陽小)



急傾斜地を調査(豊後高田市立桂陽小)



水害体験を聴き取り(竹田市立豊岡小)



自動販売機を調査(別府市立大平山小)

防災フィールドワークの手順 3

★調査結果を地図にまとめる

教員が写真を印刷する

清書用の地図を模造紙に貼っておく
・写真などを貼る余白を確保する

児童生徒は清書用の地図に
危険箇所等をプロットする
・番号を書くかシールを貼る

記入用紙に写真を貼り付け、コメント
を記入して、清書用地図の余白
に貼り付ける

模造紙
※清書用地図を
貼っている

清書用地図
(都市計画図)

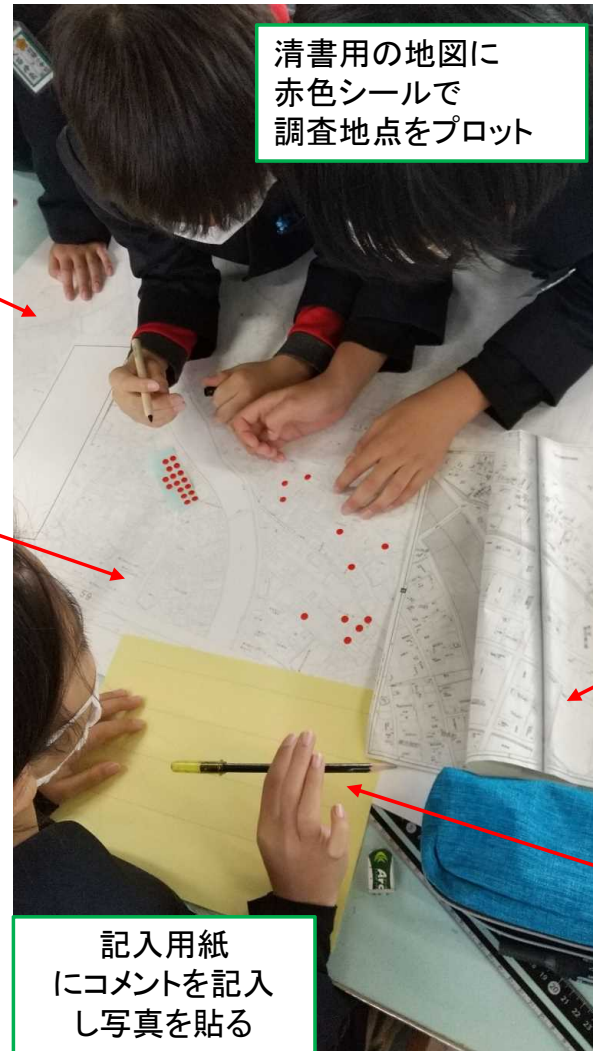
清書用の地図に
赤色シールで
調査地点をプロット

調査に持って出た
班別の地図

記入用紙

記入用紙
にコメントを記入
し写真を貼る

地図の作成作業(豊後高田市立桂陽小)



完成した防災マップの例(竹田市立豊岡小)

模造紙

凡例



清書用の地図(都市計画図)に着色、ビニールシートに浸水想定範囲を記入

